

前回委員会における基本構想骨子案・素案への要望要旨

No.	要望概要	対応状況
1	外国にルーツをもつ方がどれくらいいるかデータが必要である。	資料6
2	行政サービスがどれだけ多言語対応しているか、・・・市のサービス、図書館の実態について議論される必要がある。	
3	・働き盛り世代や子育て世代の利用促進につながる事例等 開館時間が弾力的に運用されている事例を知りたい。長野県の川上村文化センター図書館や山口県の萩市立須佐図書館は24時間開館している。夜に本に親しむことを、実証実験でも実施していれば知りたい。	資料7 (1) ③④
4	・バーチャル書架の公開 一般に同様の事例があるか調査してほしい。委員が話されたのは本のお薦めまでしてくれるものだが、人の接触が難しい時代なので選択肢として考えても良いかもしれない。	資料7 (4) ②
5	・独立した子ども図書館の設置 市立図書館と独立した子ども図書館の距離はどれくらいなのか。	資料7 (2) ①②③④
6	・独立した子ども図書館の設置 子ども図書館とはどんなものか、また、他市で上手くいっている事例を知りたい。	
7	・市民協働に積極的な事例 民間の事例だが、1坪図書館という企画で、新しいコミュニティづくりにつながった事例がある。公共図書館でそのような事例はないか知りたい。	資料7 (3) ⑤⑥⑧⑨
8	ゆったりできるスペースをもっている図書館があるか教えてほしい。ビオトープでなくても動く光のようなものがあって、ぼーっとしていられるような図書館があれば知りたい。	資料7 (3) ②
9	サービスの多言語対応について、さまざまなバックグラウンドをもつ市民が増えていく中で、全員が日本語を話せないことを考えたときに、どういう対応がなされているのか、いないのか、他市等の事例も知りたい。	資料6 資料7 (1) ①
10	ネーミングについて、全国的な事例や名称等を調査いただきたい。	資料7 (4) ⑤